

渋温泉街 1 [渋温泉]

渋温泉（しぶおんせん）は、鉱物を豊富に含んだその温泉で、1350 年以上にわたって人々を魅了してきた。一帯はまさに由緒ある温泉街といった佇まいで、狭い石畳の通りに並んだ伝統的な日本風の宿（旅館）が作り出す、時の流れが止まったかのような雰囲気が特徴的だ。ここでは、軽い綿の着物と木のサンダルを身に着けて散策しながら、お土産を買ったり地元の名物を味わったりする人たちの姿がよく見られる。

渋温泉で有名なのが、温泉街に点在する 9 つの公衆浴場だ。この地区にある旅館の宿泊者は無料で入浴できる。小さな浴場にはそれぞれ異なる源泉が引かれており、たとえば、渋大湯（しぶおおゆ）では鉄分が豊富で茶色く濁ったお湯、七操の湯（ななくりのゆ）では、湯花（ゆばな）と呼ばれる赤みがかった鉱物の沈殿物が所々に浮かんだ無色透明のお湯など、さまざまな温泉を試すことができる。この地区にある旅館の宿泊者なら誰でも、9 つの浴場すべてを巡る「九湯めぐり（きゅうとうめぐり）」を無料で試すことができる。各浴場を巡って、記念の特別なタオルにスタンプを押して集めると完了だ。スタンプを 9 つすべて集めたら、渋高薬師（しぶたかやくし）の階段 78 段を登り、最後のスタンプを押してから参拝をする。この温泉巡りを終えると、厄除け、安産、不老長寿のご利益があると言われている。

夜になると、多くの旅館で正面玄関がライトアップされる。260 年の歴史を持つ金具屋（かなぐや）のせり出した木製の軒は、照明に照らされて幻想的な雰囲気を醸し出す。この金具屋は、スタジオジブリの映画『千と千尋の神隠し』（2001）で登場した異世界にある浴場のモデルの 1 つになったと考えられている。